

日 刊 新東京	N04112	2006年8月1日(火)
	日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
	03-5690-2847	内線 4163

# 第17回定期支部大会報告

現場からの意見

(二特)

ゆうメイトの処遇改善を求める。キャリアスタッフ制度不透明。風水害での遅刻に対して特休扱いになるように。11勤、深夜勤の休息時間の拡大を求める。郵袋納入作業は負担。赤プタの早期補充をして欲しい。PMサーバの故障が多い。新しいものに変えて。

(一特)

スピードアップについていえば、局側は責任をもって仕事のことを考えていない。我々が休憩休息ずらしてやっと対応している。交付も時間過ぎてしまう。施策に対しては、組合、分会も入れてやること。非常勤職員のスキルアップの項目に問題多い。現場にあったものに。

(一小) ゆうメイト

五月にアンケート調査あった。ゆうメイトの定着率が悪いのは収入面で格差があるから。現在中勤は週30時間。40時間になるよう求めて欲しい。繁忙手当の支給も考えて。長く勤めた非常勤に退職慰労金を出しても良いのではないか。励みになる。エプロン、靴の支給悪くなったら変えるように。労働災害が多い。安全パトロールやっているのか。

(二普) ゆうメイト

民営化になった時の非常勤の処遇わからない。派遣会社が入るのではないかと不安。給料も以前は段階的に上がったが、評価制度になってからはAが貰えなくなって夢もない。労働災害多い。認定に時間がかかりすぎ。二普はエプロン支給されていない。

(一輪)

業務に関する情報が流れない。新規採用の組織化評価反省を。

(二特)

分会会議年五回開催した。役員以外の人も参加。日常の付き合いを通じて全郵政から組織拡大した。局側に要求を上げた結果、改善された。補助便に有証搭載必要な

---

---

いのでは。調査をして欲しい。

(二小)

新棟で厳しい条件の中仕事。新型区分機は頭数いないと仕事にならない。本局に出来る区分機問題多そう。作業回しについては職員の意見を充分聞くように求める。職員が少ない中、ゆうメイトさんも同じ責任を持たされて仕事している。処遇改善が必要。

(支部答弁)

新採の組織対策、反省している。全国大会でも組織統合決定。個人情報関連で抗議した。JPU 運動の正しさについては、今後も話していく。キャリアスタッフ制度は今年の 10/1 から始まる。全国で 1400~1500 名位。スキル A 習熟度有り。基準についてはこれからだ。風水害の件については申し入れる。深夜勤の休憩休息については具体案を。地域給についての情報は今ない。赤ブタについては何が本当なのか分からない。郵袋締めロスある何とかしなければと思う。サーバについては全体的に問題。金額もかかる。話はするが難しい。評価基準については求めていく。繁忙手当については同じ思い。長期ゆうメイトの処遇改善を求めていく。退職金は週 40 時間働いていないと支給されない。ユニフォーム、安全靴の支給は求めていく。有人車台数少なくなっている。故障でそのままなくなる。安全パトロールは安全衛生委員会でやっている。労災認定のスピードアップについては求めていきたい。

(三特)

退職した後補充がない。要員算出基準不透明。

(郵窓) 窓口の冷房 4 年かかって実現。企画の電話夕方から留守電。それが、郵窓にかかってくる。応対で夜勤者超勤となる。窓口への案内やめるように。窓口業務は超勤で成り立っている。本当に要員が足りない。このことについても 4 年前から訴えているが改善されない。組合員は諦めている。言っても仕方ないと思っている。長岡局事件は他人事ではない。

(一普)

備品入札。経費削減あるが、質の悪いものになっている。純正品でないもの多い。品質落とすな。反戦平和の取り組みがない。沖縄学習会等、地本、全国でとりくまれている。個人情報についても、細心の注意をすること。全郵政との組織統合、感情もいろいろある。

---

---

## (二普)

女性が働くことについて。夫が深夜勤の週は殆ど顔を合わせない。減免措置も子供が小学校に入学すると無くなる。男女働きやすい勤務形態を要求して。

## (三小)

要員について、物数から算出しているようだが、それぞれの業務には付帯作業が多い。そこを考えて出すように。三小も労災が多い。

## (二特)

深夜勤に関してアンケート調査実施。回数についての意見色々あるが、結局プレミア手当がネックになる。時間休取るとプレミア手当が付かないことに納得できない。土日休日の夜勤交手段の関係で遅くなる。終業時間の見直しを求める。

## (二輸)

要員問題につきる。他課の人からも『二輸は人が少ないね』と言われる。それでも過員と言われている。せめて非常勤を定数に持ってきて欲しい。担務つけられない状態。基本的な仕事を回す要員がない。

## (一普)

日本橋局での新規採用訓練では全郵政にもっていかれる。昔からもめ事あった。JPSは本当に忙しいときには出来ない。そんなJPSはどうなのか。成果出ていない。年末年始も原単位できない。理念と実態がかけ離れている。組合が建設的意見を言える場の設定とルール作りを。

(答弁) 新規採用者については訓練に集中出来るようにとのことで対処した。日常活動を通じて組織拡大をする。業務と要員のミスマッチについては支部も言い続けている。見直しは今後も求めていく。郵窓の冷房も4年かかったが、時間がかかっても求めていくしかない。入札の質が落ちていることについては要求する。二特のアンケート同感。JPSとの話し合いの場あるので意見は上げる。郵窓の電話については、企画も要員がない時間帯。現状の対応をお願いしたい。反戦平和については、憲法改正問題もあるので、学習会や日刊紙で訴えていきたい。

## (一小)

民営化について、職員は雇用確保された。労働条件については、賃金とかの具体的なものが出てくるのか。業務精通手当について、管理者に反発してAからBに下げられた。

---

(一輸) 一年間を振り返ると何も出来ていなかった。今日を新たな出発としてがんばりたい。ケースの不足があるのり新しい物を用意しない。しても少ない。空パレットとかケースの保管場ない。新棟2階を作って保管場にして。非常勤の退職慰労金求めて。

(三普)

羽田は疎外感がある。民営化の時に仕事が下請け化されるのではとの不安がある。

(二普)

民営化の中で、会社とではなく派遣会社が間に入るのではとの不安が非常勤のなかにある。もし、はっきりしていないのであれば、こちらから要求を出すこと。専門部も設置して対応をすること。被服の貸与についても要求を。やる気のある若いゆうメイトは入っても辞めていく。年輩者が増えている。スキル評価あるが、希望を持ってない職場になっている。賃金についても要求を出すべきだ。

JPSは床面にテープを貼るだけでなく、原単位もある。最近では日報の提出率が悪いので、出さない人の出勤簿にかかっている。なぜ日報書かなければいけないのか。何に使われているのか。ボードに印付け、それで何をやっているのか。だれもボードを見て仕事していない。結果はどうなのか。コスト削減になっていない。やめるよう再度求める。毎日、延着、延発。応援がないと結束出来ない職場。この仕事に必要な要員組合としても考える業態活動をする事。仕事の変化に対する対応をすること。

(支部最終答弁)

この間の民営化反対の取り組み。ポイントは正確な情報を共有化する事が大切。これから協約の締結がある。当局からも会社概要や帰属に関する周知が行われる。プロセスについても説明。全国大会議案に細かな説明が掲載されている。非常勤職員の雇用についても全力をつくす。適用法令が変わるので、保険、出向、転籍、給与支給日等々出てくる。協約締結の際、納得いかなければ判を押さないとやっている。スト権も付与される。

分会代表者会議、オルグ、日刊紙などを通じ情報共有化をしていく。非常勤職員の組織化は、雇用の安定と処遇改善のために行っている。出された意見に対しては年間活動方針の中に具体化していきたい。

今日の大会を機に新規一転頑張らしましょう。

---

支部大会で採択された「大会アピール」です。

# 大会アピール

昨年夏、参議院本会議の採決の結果、郵政民営化法案は否決・廃案となり、私たちが労組政策協議会を基軸に、特定郵便局長会、郵便局ファンの会とともに全力を挙げた運動が実を結んだ。その後の解散総選挙を経て民営化が確定したが、J P Uは幾多の困難を乗り越え、世界に例のない郵便局ネットワークという国民共有の財産と雇用を守り抜いた実績と歴史を有している。私たちは今、時代の大きな変革期にある。先に横浜で開催した第62回定期全国大会でJ P Uは、民なれど公共性を持った公企業として民営郵政を発展させ、雇用と労働条件の確保、働きがいの実現に向けて、新たな道を切り拓いていく決意を固め合った。全国各地でJ P Uの仲間たちが、安心して働き続けられる職場づくりに懸命に努力している。

私たちJ P U新東京支部は、本日ここに第17回定期支部大会を開催して、本部・地本指導に基づき、全組合員が正確な情報をしっかりと共有化しながら、民営化へ向けた対応へ全力を挙げる決意と基本認識の一致をはかった。大会では、多くの代議員から民営化を控えた職場の現状と課題に関して活発な意見が出された。「安定した業務運行と品質管理」は新東京局の生命線である。支部と分会・職場が一体となって、上部機関とも連携した活動をさらに活性化させて、実際に働く者の視点から、改善・改革が実行できるよう努力することを確認し合った。「皆が集まり」「語り合い」「決めたことは皆で実践」する組織活動の原点を大切にしながら、確かな運動の前進をめざすものである。

「数は力」である。J P Uは2年連続して、全国、地本、そして新東京支部のすべての機関が組織の純増を達成した。「私たちの未来づくり」は着実に実践されてきている。大会発言で語られた仲間が増えていく喜びを組織全体で確認し、さらなるJ P Uの仲間の輪を大きくする決意を固め、全職場で具体的な実践を継続しよう。労働者は、労働組合への結集こそが、自らの雇用と生活を守ることにつながるものであると確信する。新時代を私たちとともに歩む仲間の総結集を力強く呼びかけていこう。

2006年7月30日

日本郵政公社労働組合  
新東京郵便局支部  
第17回定期支部大会

# 新東京

## 平和とピースウィーク

NO 4114

2006年  
8月3日(木)

日本郵政公社  
労働組合  
新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

JPUは、ピースウィークを設定し平和運動に取り組んでいる。戦後61年を迎え様々な場面で戦前回帰を思わせる出来事が多い。「憲法9条改正」「教育基本法改正」などが代表だ。また中韓関係を冷え切った状態に陥らせている「靖国神社公式参拝」問題も憂慮すべき課題である。そして、また8月6日広島、8月9日長崎、8月15日終戦の日と続く。

日ごろ、平和運動や国のあり方、政治との関わりなどについてじっくり考えることが希薄な

ことの反省を含め、夏休みの子供さんと『総合学習』してみても、いかがでしょうか。

また、テレビや新聞を始めマスコミが多数の特集を組みます。どの立場で作成しているかも見極めつつ、じっくり平和について考えていきたいと思えます。



### 本部年商方針

#### 7 連合運動と平和運動

- (1) 連合が掲げる政策要求の実現に向け、中央・地方における連合運動および諸行動に積極的に参加します。
- (2) 公務労協（公務公共サービス労働組合協議会）の政策確立に向け、積極的なとりくみを進めます。
- (3) 中央・地方で開催される連合の平和運動に積極的に参加するとともに、8月5日（土）～8月12日（土）を「JPUピースウィーク」に設定し、各機関の創意工夫した平和運動を実践します。（参考：親子で参加する平和のための広島集会を2007年8月に開催します）

前段書いたようにJPUは、ピースウィークを設け連合の仲間と共に、広島集会、長崎集会の成功と平和希求の運動を追求している。そして、9月の北方領土返還運動と続き明年6月の沖縄での全国大会開催へと繋げて、平和運動を進めていくことが62回全国大会で決定されている。

“投稿”

# 特撮ヒーローと ハリウッド

7月22・23日(土・日)に、東京ドームでWヒーローフェスティバルが催されました。このフェスティバルは、仮面ライダーの放映開始35周年と、ゴレンジャーから始まった戦隊ヒーローシリーズの30作目を記念して催されたもので、特撮好きの我が家みんなで行ってきました。ショーと共に、戦隊シリーズ歴代レッドと全仮面ライダーのコスチュームや、戦隊ヒーローや仮面ライダーの乗ったバイクや車、戦隊シリーズのロボの展示などがあって、なかなか楽しかったです(個人的には五月に逝去された悪の女王役を演らせたら日本一の曾我町子さんのコーナーがあるとなお良かった。…オタクでスママセン)。

で、本題です。東京ドームシティアトラクションズ(旧後樂園ゆうえんち)のスカイシアターの戦隊ショーもそうなのですが、子供連れを対象にしている催事なのに、それに配慮した入場方法や会場づくりができていないように思います。このフェスティバルの会場だった東京ドームに入場するときも、東京メトロ後樂園駅からWINS後樂園付近まで歩いて列の最後尾に付き、そこからドームの正面入り口まで一周した上に階段を上り下りして入場口に辿り着きました。更に入場の際には手荷物検査をしたので、幼稚園入園前の子供(特にベビーカー)を連れた親や祖父母は、傍目から見ても移動が大変そうでした。ドーム内の会場も、スタンドからグラウンドに上り下りするのに階段しかありませんでした。

「大人も楽しんでいるのだから、そのくらいガマンしなよ」と思うかもしれませんが、子供相手の催しである以上、子供の目線に立って、子供が移動しやすい会場づくりが必要だろうと感じました。

【猫舌】

「投稿」

# 続・自衛隊のイラク派遣は是か非か 「まだ全ては終わっていないなかつた」

日刊新東京No.4079(六月一四日付)で「イラクへの自衛隊派遣を今一度考えよう」と投稿しましたが、その後、幾ばくも経たない内に、イラク南部サマーワに駐留していた陸上自衛隊が撤収しました。イラク情勢が更に混迷を深めて、自衛隊員に被害が出ない内に撤収して良かった、と思ったのも束の間、まだクウェートに航空自衛隊が残留しており、しかも今後はバグダット付近の米軍に補給活

動を行う、と聞いて、暗然とした気持ちになりました。

先日、東京地本主催の「沖縄平和学習会」の講演の中で『米軍と自衛隊の共同軍事演習が顕著になっており、沖縄は危機を募らせている』とありましたが、沖縄の危惧通り、遂に表立って自衛隊・米軍共同で軍事行動を始めた事になります。

日本人は昭和初期の一五年戦争の時から前線への補給に対する考えに反応が鈍い傾向があり、

今回の航空自衛隊の残留もニュースとしては小さい扱いでしたが、戦争・紛争において、補給は実際の戦闘以上に重要な役割を担っています。航空自衛隊がそのような重要な役割を課せられた事に、私たちはもつと危機感を持つべきだと思います。

『陸上自衛隊が撤収したから』と安堵してイラク問題を忘れる事のないように、時折、航空自衛隊の活動も顧みる必要があります。

【猫舌】





日 刊  
**新東京**

NO4118

2006F  
8月9日(水)

日本郵政公社  
労働組合  
新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

## 本工主義の克服のために①

### あなたは非常勤の労働条件改善のために「賃金配分の大胆な見直し」の覚悟はありますか？

#### 本工主義について定期大会では？

先の定期全国大会で菰田委員長は、「JPU運動が本工主義から脱却できるかは私たち自身に問われる課題。賃金配分のウエイトを一時期大胆に見直す」必要性を強調。このことは、支部定期大会で島村書記長の最終答弁で述べた中味でもある。言い換えれば、例えば非常勤労働者の待遇改善のために、場合によっては本務者の賃金等に影響しても構わないということ。

基本は、本務者と非常勤との複合型職場（新東京局は、よりゆうメイト主体の職場）で、同じ労働者の立場に立ち、同じ未来を創っていくということが、今組織として最も問われている。

#### 大手製造業の

#### 違法な雇用形態にみえたもの

先日、大手製造業で、「偽装請負」と呼ばれる違法な労働形態が広まっている実態が表面化。「偽装請負」とは、簡単にいうと、企業側が、労働安全上の義務を負う派遣契約を結ばないで、請負会社の労働者を企業側の都合で指示管理すること（本来は請負業者が安全責任や作業指示等を行う）。企業側は「使い捨て」が簡単にでき人員削減等のメリットが大きいが、職業安定法や労働者派遣法に抵触する。

キャンオンや日立等日本を代表する優良企業といえどもこの「偽装請負」のように実際は、えげつないやり方で莫大な利益を

上げており、企業の責任と合わせて、労働組合（当然有力単産）の道義的責任も出てしかるべきだ。

#### 同一労働同一賃金の原則を

貫くには本務者の覚悟が必要  
「格差社会」の解消とか「少子化対策」とか一般論では誰でも言っている。問題は、自らの職場で具体的に取り組んでいるのかどうかだ。

日本の労働組合運動が社会的影響力を失ってきた経過は、個別単産の利害を超えた取組を放棄し、正社員組合員の利益のみを追求して結果に他ならない。

同一労働同一賃金の原則を貫けば職場も社会も変わる。今、私たち郵政職場が、非常勤労働者抜きに考えられない職場実態で、特に新東京のようなゆうメイト職場はなおさら、本務者の利益を常に優先する姿勢そのものも意識も根底から変わらなければならぬ。支部非常勤組合員が既に一二〇名を超えた今、その覚悟が問われている。

※次回は、ロストジェネレーションについて

# 千エシヤ猫の関心事II

## ICタグを郵便で使うと？

### ICタグで

#### 郵便が変わる？

あと一〇年もすれば、世の中の全ての商品に付けられると云われる「ICタグ(チップ)」。  
現在ほとんどの商品に付いているバーコードに代替わりする。

郵便についていえば、現在バーコードで追跡情報や区分認識している書留や配達記録等特殊取扱郵便、ゆうパック、そしてケース票札等は最初に代替わりされそう。

#### そもそもICタグとは？

日立が最近開発した「ミューチップ」はほとんど粉状の0.3mm角で、十の三八乗桁分の情報認識が可能。単純に地球上のあらゆるモノというモノ(生命体も?)に付けられる。単価もすでに十円を切った。非接触型で通信距離が三〇センチまで(二〇〇一年現在だが、今後の開発次第で更に高性能に)。

#### 実用例は？

現在、カードとしてはJRRのSuicaカードを筆頭に多機能に普及。タグとしては、古くからは例えばレコード店やレンタルショップの盗難防止機能に使われてきたが、現在では、例えば、回転寿司店では寿司皿の裏面にICタグを埋込み、例えば、廻りっぱなしの皿を回収し常に新鮮なネタを提供し、清算は読取り機で料金表示。また、野菜にICタグを付け商品管理と品質情報の提供をしている店も多くなった。スーパーでは、全ての商品にICタグを付け、商品カートでレジゲートを通過しただけで料金が決済できるシステムも。

今後例えば、盲人用の白杖と歩道等の点字ブロックにICを埋め込み、目的地までの音声等による情報提供とか、高齢者、障害者が人間としての可能性を広げる機能に大いに貢献。とにかく、ユビキタス社会の中心的機能を担うのはICタグであることはまちがいない。

#### ICタグを使うと

#### 新東京では？

郵便での活用を新東京の作業工程から考えると、例えば、特殊課で書留等の継越情報入力のためバーコードを一通一通こする作業はなくなり、郵袋の上からでも入力可能に。

小包課ではゆうパックも引受時に入力すれば、当局での打鍵作業が不必要になり、パレットごとで個別ゆうパックの継越情報入力が可能に。普通郵便もカスタマバーコードに代替えしプラスαの機能が発揮される。

こういう記事を書くと、「更に人減らしてたいへんだ」と言う意見が出そうだが、作業工程が削減されるならば「とにかく要員不足でたいへん」という新東京の労働実態のカイゼンにマイナス要素にはならないのでは。



日 刊	<b>新 東 京</b>	NO 4119	2006年8月10日(木)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 非常勤職員のスキルアップシート

### 職場に対応した項目なぜ入れない？

非常勤職員のスキルアップシートの提出が、今求められている。評価期間は18年4月1日～9月30日である。半年に1回、シートを提出し評価を仰ぐものであるが、毎回評価項目を巡って怒りの声が上がっている。

特殊三課では、前回のスキルアップシートの資格給評価Aランクの項目に「他局からの問い合わせに対して、回答できる」「お客様からのご指摘に対応できる」というものが入っていた。

このことに対し、特に「お客様からの指摘の対応」については、電話対応、来客対応含めてほとんど機会がなく、習熟度が貰えなかったという事実があった。

「なぜ職場に即したスキル項目を入れてこないのか」「機会0にちかいお客様の指摘の項目は、あまりにも現状に対応していないものである」との意見が大半だ。

ほとんど、それらに対してスキルアップのための、ミーティングや業研を開催しないでまた、今回全く同じスキルアップ項目を載せてきたのである。

「Aの習熟度有りを絶対させない卑劣なものだ」「全く対応する機会もないのに、また君はできていないからと言われ習熟度無しの評価なのかなー」等の声も。

また、1次評価者(主任職員)も「どう評価して良いのかわからない」「この項目は、酷だ。習熟度有りて評価するが対話やアドバイスは難しいものがある」と困惑顔だ。

このような項目を入れてくると、最終評価者等との対話も「話がかみ合わない」「訳わからない」「怒りを通り越して放心状態」ということが、また再現してしまう恐れがある。

いち早く、『職場に対応したスキル項目の変更』を求めるものであると同時に、本当にスキル項目に対して、しっかりとした対話、ミーティングをして頂きたいものだ。それが責任というものだ。

〈投稿〉

# 敗戦六十一周年と 昭和天皇発言メモ

太平洋戦争が終結して六十一年が経った。はじめに、この戦争・各事変で亡くなられた国内外の人々に御冥福をお祈り申し上げます。

さて、今年の七月二十日に、靖国神社のA級戦犯合祀に対する昭和天皇の発言を書き留めた元宮内庁長官のメモが公表された。一九七五年を最後に靖国神社に参拝しなくなった昭和天皇に対して、憶測でA級戦犯の合祀が原因ではないかと言われて

いたが、メモの出現で靖国参拝に対する天皇の真意がはっきりしたわけである。早速発言内容を疑問視した雑誌が数冊あったが、どうして、この戦争の事実を追求するだけなのに、必ず無意味かつ無駄な主義主張を挿入するのだろうか。

当時、大日本帝国憲法上、唯一主権を持っていた昭和天皇の本心が、他の軍事・政治責任者よりもほんのわずかしか世に出しておらず、その上、最近は「○史観」「××史観」と頭から己

の信じている主義主張に基づいて歴史の見方を決めつけ、かつ他人に押し付けて語る（しかも脅迫つき）ので、昭和天皇の実像は、いや、この戦争の実像はますます埋もれてしまう。

この元宮内庁長官メモに関しては、政治的に利用してはならないのは勿論（「利用するな」と発言している人たちが何より恣意的に利用しているのは滑稽だが）、学術的な昭和史を構築するための研究に役立てる事を期待してやまない。

【猫舌】



日 刊	新東京	NO. 4120	2006年8月11日(金)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 《深夜勤》あなたは どのように思う??

二特分会は、組合員から様々な声が出ている深夜勤問題を、支部大会で発言するために、「組合員からの声」を集約しました。健康で長く働ける職場環境づくりを目指し、深夜勤改善に向けてこれからも頑張ります。

質問項目は、1点のみ。

1 指定8回のみまで、深夜勤1週間4回（深深解深深非）の隔週から、1週間2回（深深非）の毎週。プレミア手当は（6000円）なし…という勤務は良いと思いますか？ という質問です。

46人の組合員のみなさんが回答に協力してくれました。

賛成は28人で60.9%、反対は18人で39.1%という結果になり、約6対4の割合という結果になりました。個人的には意外に現状のままがいいという回答が多いのに驚きました。（\*\_^\*）

反対の理由は、

- ・手当がなくなり給料がさがるのはイヤ。 (9)
- ・深夜勤のあとが週休ではなく勤務になる可能性もある。 (3)
- ・回数が減らないのなら手当をもらったほうがいい。 (3)
- ・深夜勤帯週と日勤帯週に分かれているのでメリハリがついて良い。
- ・現状のままでいい。深夜勤の改善にはならないと思う。
- ・毎週深夜勤があるのは憂鬱。
- ・番が別れていた方がいい。

※（ ）内の数字は同内容のコメント数です  
…というコメントがありました。なお、プレミア手当がつくのなら賛成という方向は55%しめていることもわかりました。

賛成の理由は、

- ・手当より健康が大事。 (7)
- ・連続勤務で体がきつい。 (3)
- ・違う番の人との交流がない、コミュニケーション不足。 (3)

- ・体力的、精神的プレッシャーが軽減される。(2)
- ・回数を少しでも減らしてほしい。(2)
- ・このままでは深夜勤ができない職員が増える。
- ・業務的には当然のこと。
- ・1度やってみて検証を。
- ・労働条件の改悪をお金で解決するのは良くない。

※ ( ) 内の数字は同内容のコメント数です

…というコメントがありました。しかし、「できることならプレミア手当はつけてほしい」との声も多く、「絶対健康優先」という人と、手当か健康かと天秤にかけて…という人がいる感じが伺えました。

また斬新な回答としては、

- ・週2回と週4回の好きな方を選ぶ選択制度をとる。(2)
- ・週2回を2週やり、週4回を1週やる。

…という希望・選択制の意見も上がりました。( ^\_^ )

そして、

- ・深夜勤の廃止。
- ・時短を求める。 という回答もありました。

結論的には、反対・賛成を問わず、プレミア手当の支給の改善、または深夜勤務の回数の削減などが組合員の共通した要求と、問題事項だということがわかりました。

支部大会では、この「組合員からの声」を報告するとともに、プレミア手当の支給改善、深夜勤回数の削減、ゆうメイト11勤・深夜勤の休息時間の拡大、夜勤の21時終業、時間休をとるとプレミア手当がなくなる問題など、二特分会として発言してきました。

支部の答弁では、「深夜勤については支部としても何とかしたい。みんなが納得できる形にしていきたい。」「時間休をとるとプレミア手当がなくなる問題は、ちょっと正確にはわからないので調べてみます。」との答弁でした。

この組合員の声が届き、深夜勤務が少しでも軽減、改善され健康で長く働ける職場環境になることを節に願います。

「仕事は短距離走ではなく長距離走。」

・・・(コメントより抜粋)

御協力ありがとうございました。

二特分会

日 刊

# 新東京

No. 4121

2006年  
8月2日(月)

日本郵政公社  
労働組合  
新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

## 親子で参加する

# 「JPU沖縄平和集会」

7月21日～23日の三日間、全国各JPU支部の小学生・中学生の子供を持つ家族33家族129名の大勢の参加のもと沖縄県那覇市において、東京地本・親子で参加する「JPU沖縄平和集会」に参加して『戦争とは…平和への取り組みとは…』等々、親子で学んできました。

7月21日、加賀谷家は沖縄現地集合のため午前の羽田から空路

で沖縄へ。当日東京は雨、九州地方は大雨のため被害が出るほどの天候で無事に沖縄に辿りつくの心配でしたが、幸いにも沖縄地方は晴天！日頃の行いが良いのかと思いましたが。加賀谷家は沖縄は初めてでしたが、沖縄本島が見えてくると飛行機はすごい低空で「海に落ちるんじゃない?!」と

「JPU沖縄平和集会」は、講

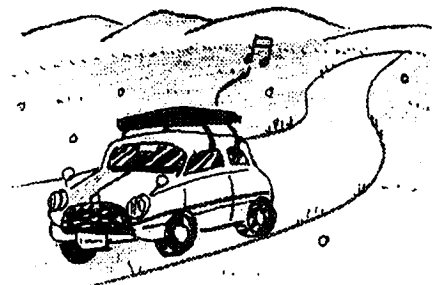
演を聞き、1フィート運動ビデオ鑑賞、米軍基地見学、沖縄平和祈念資料館、ひめゆりの塔への献花等々、日程的にちよつと無理?と思われるほどのハードスケジュールでしたが、短期間で回れることができて有意義な3日間でした。(詳細はJPU新聞に掲載されます。)

初日の講演で地元沖縄出身の参議院議員糸数慶子さんのお話が今でも忘れられません。沖縄戦から61年が経ちますが、いまだ沖縄は基地問題に悩んでいます。その一例として「空」の問題があります。日米地位協定で沖縄周辺の空域は、(正確な数字は忘れましたが…)民間機は300m、航空自衛隊は500m以上を飛行してはならない。それ以上の空域は米軍の使用のみということ。糸数さんは「この沖縄では、まだ、戦争は終わっていないんです…。」とおっしゃっていました。

「ほたるの墓」という映画を知っている方は多いと思います。考えてみてください。自分の家族や子供が同じ目に遭うことを。絶対に自分の子供には、体験させたくないと思います。そんなのは、あたりまえです。しかし、最近の日本の国民はともすれば、事件、事故、他国での戦争などを対岸の火事のように考えてしまいがちです。恥ずかしながら自分もその一人です。今の平和は当たり前だ！という現状に甘えることなく、平和に対する理解と学習が必要なのではないかと思っています。のど元すぎればなんとやらで時が過ぎると自分自身も平和に対する理解がうすれていくのではないかと痛感しています。

最後に、このような学習会をJPUとして、これからもどんどん続けていってもらいたいです。お願いいたします。

第1小包



## リッター137円

### 何処のガソリンスタンドでしょうか？

夏休みに出かけた方、知ってましたか？答えは高速道路のサービスエリアのガソリンスタンドなのです。

私は、出かける数日前にある新聞で見掛けました。給油をしないで出かけました。行きに満タンにして、帰りにも満タンにして来ました。

往復で50リッター使いましたので、単純に考えると、250円しか浮いていないんですね。少しガッカリです。

しかし良く車を使う人においては、かなり大きいのではないのでしょうか。

いつも高いイメージの高速道路で何故この様な事が起きるかという、前月の全国平均が適用されて決まるようです。今月いっぱいには137円で入れられますので、是非これから出かける人は参考にして下さい。



日  
刊

# 新東京

NO: 4122

2006年8月22日(火)

日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会

03-5690-2847

内線 4163

## 外国来大型普通通常郵便物の 業務移管期間の延長について

東京支社は、標題のとおり、外国来大型普通通常郵便物の業務移管期間の延長について、説明してきました。

当初、東京支社は、6月21日から8月31日の期間で新東京郵便局で行っていた外国来大型普通通常郵便物の区分業務について、東京国際郵便局に移管するとしていましたが、さらに18年9月1日から19年1月31日までの期間延長するとしています。

主な移管理由は、当初説明同様①国際郵便物を集約化し将来的な機械化も視野に入れた効率的な処理及び送達速度の向上②新東京局の局舎狭隘の救済③安定した国際郵便及び内国郵便の業務運行確保となっています。

現行行っている移管処理状況について質したところ①処理物数は平日で約9,700、平日で4,000であり、②要員措置については13×8Hを措置するとし、現在は主として10名のゆうメイトと本務者の応援などにより処理している③成田国際空港郵便局の差し立て時間の変更等により、夜間帯の処理から日中帯への処理へ移行し、送達速度の向上にもつながっていると説明しています。

また、運送施設及び分類方法についても継続して延長するように、本社及び関東支社との調整も行うとしています。地本としては、前回同様、新東京郵便局における局舎狭隘等については理解するものの、東京国際郵便局の労働力（賃金措置）の確保と、将来的な処理体系の見直しについて求め、支社も本社及び関東支社との関係もあるが今後検討したいと回答したことから本件を了解しました。

日 刊	新東京	N04 1 2 3	2006年 8月23日(水)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 東京地方大会要求の提出

東京地方本部は、労働条件改善のとりくみと働きやすい職場作りをすすめる立場から、8月4日、13項目21意見からなる意見書を東京支社に提出しました。東京における業務基盤は、各種効率化施策の実施等により限界に達しており、職員の負担も増大している現状となっています。そのことは、7月5日から7日にかけて開催したJPU第53回定期地方大会の中でも多くの代議員の中から、職場の問題や労働条件の課題など切実な意見が出された事にも明らかであり、地本としては今後、意見書に対するとりくみと必要な支社対応を強化しつつ、労働条件改善のとりくみを前進させていきたいと考えています。

今回の意見書は集配職場で実施されている2ネット施策及び小包の本務者配達に対する必要なゆうメイト雇用や実施局におけるアフターフォロー業務基盤として3事業の業務量に見合った要員配置を中心に、勤務時間関係の課題や非常勤職員の処遇向上を目指した意見項目になっています。また、JPSの現状と諸課題について、支社の回答を引き出しながらとりくんでいくこととします。8月末日を目途に支社との整理がはかれるよう、今後、精力的に交渉を展開していくこととします。

(以下本文は新東京関連のみ抜粋して掲載します。)

### 業務運行の確立及び労働条件改善に関する地方意見

東京における業務基盤は各種効率化施策の実施等により限界に達しており、職員の懸命な努力によりギリギリ業務運行等は確保されているが、明年の「民営・分社化」を目前に控え、東京としての使命である事業財政の確保と業務運行、高度な品質管理の確保からもこの時期抜本的な事業の改善が必要と考える。

私たちJPU東京は、第53回地方大会を開催し、組合員から出された切実な職場改善の声を基に事業の将来と職員が自信と展望をもって日々の業務に専念でき、安心して「民営・分社化」が迎えられるよう、以下、意見表明するの東京支社として誠意ある回答を示されたい。

---

## 記

### [労使関係]

- 1 各種施策を実施するうえで、現場での意思疎通が重要と認識するが、特に施策をすすめる段階では現場管理者の硬直的な対応も見うけられる。コミュニケーションルールを基本としつつ、率直に検証と改善の意見交換ができる労使関係と、各郵便局の状況に応じた改善が図れるような柔軟な体制を築くこと。

### [業務基盤の確立]

- 4 各種効率化施策が矢継ぎ早に実施され、各事業とも業務量に見合った要員配置とはなっていない。品質確保やコンプライアンス上からも一定の手立てが必要となっている。各局の業務量を精査し、以下の点について、重点的なアフターフォローを行うこと。

- ① 欠員の早期補充と必要な職場において賃金・超勤の制限をおこなわないこと。
- ② ネット実施局及び小包の本務者配達の実施局と区分局に対するアフターフォローを行うこと。
- ③ 日本橋貯金企業サービスセンター再編対象局と投資信託業務拡大に伴う普通局貯金内務職場のアフターフォローを行うこと。
- ④ 保険職場における払込団体適正化のとりくみによる業務量増加に対するアフターフォローを行うこと。

### [システム関係]

- 5 新東京局における小包区分装置の更改について、更改の予定の遅れによる混乱も懸念されるが、当該局の現状と年末繁忙も見据えた今後の対策を明らかにする共に更改にあっては現地での意思疎通を充分はかりながらすすめること。

以下次号へ

---

日 刊	新東京	NO.124	2006年9月29日(水)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 業務運行の確立及び労働条件改善

に関する

### 地方意見(大会要求)の提出について

#### [業務基盤の確立]

- 4 各種効率化施策が矢継ぎ早に実施され、各事業とも業務量に見合った要員配置とはなっていない。品質確保やコンプライアンス上からも一定の手立てが必要となっている。各局の業務量を精査し、以下の点について、重点的なアフターフォローを行うこと。
  - ①欠員の早期補充と必要な職場において賃金・超勤の制限を行わないこと。
  - ②2 ネット実施局及び小包の本務者配達の実施局と区分局に対するアフターフォローを行うこと。
  - ③日本橋貯金企業サービスセンター再編対象局と投資信託業務拡大に伴う普通局貯金内務職場のアフターフォローを行うこと。
  - ④保険職場における払込団体適正化のとりくみによる業務量増加に対するアフターフォローを行うこと。

#### [システム関係]

- 5 新東京郵便局における小包区分装置の更改について、更改の予定の遅れによる混乱も懸念されるが、当該局の現状と年末繁忙も見据えた今後の対策を明らかにすると共に更改にあっては現地での意思疎通を充分はかりながら進めること。

#### [勤務時間関係]

- 7 不払い残業の撲滅のため勤務時間管理を徹底するとともに36再締結を再演させないよう、特に懸念される2 ネット実施局や小包の本務者配達実施局の対策を講じること。また、計画担当者や役職者の実態は改善されているとはいえない。支社として郵便局指導を徹底させること。さらに、職員の休暇取得促進の観点から休暇取得率アップを各局で進めること。

---

---

### [JPS関係]

- 8 JPSの推進にあたって画一的な手法と上意下達な推進により、職場における施策内容の浸透は未だ深まっていない。職場では上局より求められる報告のみに終始していることや担当者が上局・管理者と職場との板挟みになるなど、JPS担当者が苦勞している状況もある。「ムリ・ムダ・ムラ」をなくし、生産性を向上しつつ職場の改善をはかる施策本来の目的となるよう、施策の検証と支社としての問題点を明らかにしつつ、必要な改善を急ぐこと。

### [人事評価関係]

- 9 人事制度改革の核となる人事評価制度において、形式的な被評価者に対する評価結果のフィードバックの克服や3年連続して70点以下の被評価者に対する助言など、単に降任・降格させるための対話でなく、人材育成の視点に立った制度の充実を果たすこと。また、評価について郵便局間に評価レベルの格差が生じているとの声もある。支社における人事評価制度の問題点と改善策を明らかにすること。

### [非常勤の処遇改善]

- 11 事業にとって安定的な非常勤職員雇用と定着は不可欠であり、一定の単価アップ等行ってきているが、安定的な非常勤職員雇用と定着策として東京としての処遇全般の向上を目指すこと。また、多くの非常勤職員が採用されている関係から備品等点検の上、不足しているものは補充すること。

### [深夜労働関係]

- 12 連続した深夜勤勤務の導入や深夜帯作業密度の増加により、不調を訴える職員が増加している。支社として深夜労働軽減策や職員の健康管理策の万全を期すこと。
- 13 現在東京には郵便関係職場にも多くの女性が採用されている。出産や育児時の休暇取得や業務軽減、各種緩和策の向上など、次世代育成支援策策定を視野にいれ、現状を上回る施策を講じながら、女性が安心して働き続けることができるよう、環境整備に努めること。

以上

---

---

日  
刊

# 新東京

NO4125

2006年8月25日(金)

日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会

03-5690-2847

内線 4163

# ビアガーデン!!!

## よかったよ♪

8月19日(土)、水道橋の東京ドームシティーにある「風と緑のビアガーデン」にて恒例の青年部夏レクをやってきました。当日は猛暑で、まさにビール日和。参加者も大人67、子供8とかなりの方に集まっていただきました。新青年長の小山健司(2普)の「かんぱ〜い!」の発声とともに、暑くて待ちきれなかったみんなは我先にとサーバーに押し寄せ、早いペースで胃袋にビールが吸い込まれて行く…!

バイキング形式なので、ひたすら飲む人、ガツガツ食う人、ずっと子供と遊んであげるやさしいお兄さん(〇)。など、様々な人間模様…。

青年部レクなだけあって重い話など一切ナシ!日頃の溜まった疲れとストレスを一気に発散してたような気がしますよ。横でやってた巨人戦より盛り上がったのでは?



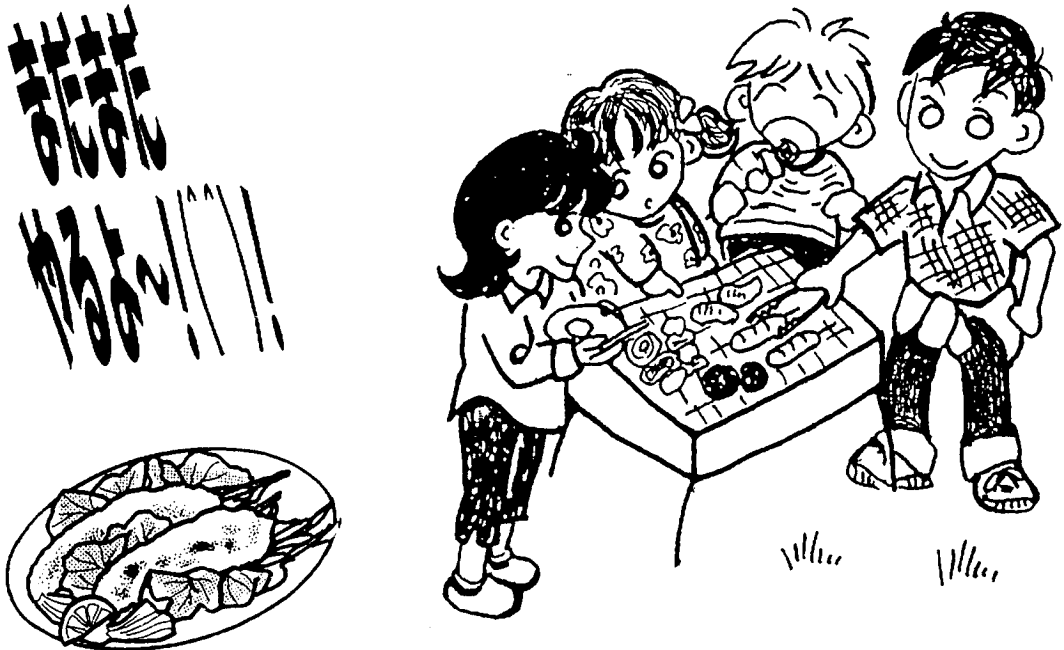
そんな感じなもんで、2時間なんてあっちゅーまです。青年部長がキッチリ締めもせずビアガーデンタイム終了～。

その後はメインの2次会!!! ここからが更にヒートアップ。巨人に勝った後の中日ファンと酒を酌み交わし、暑い夜はまだまだつづきました。 怖りが朝になってしまい、家に入れてもらえなかった人がいたとかいなかったとか・・・。

個人的な感想として、大勢で外で交流を深めるのは、やっぱりいいものだと思います。と・いうわけで、そろそろバーベキューかな～。

という感じで新体制の青年部も頑張っていくので、みなさん、温かい目で見えてあげてください。

m(\_ \_)m



日 刊

# 新東京

No. 4126

2006年  
8月28日(月)

日本郵政公社  
労働組合  
新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

## 全国労働災害の郵便局で 東京の報告の現状

労働安全衛生法では、労働者が仕事中ケガや病気などをした場合、その原因究明のために「労働者死傷病報告」を労働基準監督署に提出することを事業者に義務付けています。

しかし、全国の郵便局で、昨年末までのおよそ三年間に起きたケガや病気の内、およそ七割に当たる一万三百件余の報告を、労働基準監督署に提出することを怠っていたことがニュースで

報道されました。ケガなどの報告の全くない県や、九割以上も報告を怠った県が十一あるほか、外務職員が階段から誤って転落死亡した件を報告しなかった例もありました。公社は平成十五年と同十六年に、一部の労働基準監督署から郵便局の「労働者死傷病報告」が少ないとの勧告を受けて、支社を通じて必ず報告するよう指示を出しましたが徹底されていませんでした。公社は「報告について認識が不足し遺憾に感じている



る。さらに報告の徹底を図りたい」と述べています。

さて、新東京郵便局でも、この数年、仕事中のケガなどによる労働災害件数が増加の傾向にあります。コンプライアンスの遵守を掲げる公社の一員として労働基準監督署への報告を怠っていない点は評価しますが、問題は、労災認定に長い時間が掛かる事です。認定に一年以上の時間がかかる現状では、そもそも労災は社会保険の適用外で、全額医

療費を自費で先払いするため、重症の場合、生活費を圧迫してしまいます。

もちろん、いわゆる労災の件数を減らすことは事業者として当然ですが、細心の注意を払っても労災は起ります。その時の労災認定についても「本人が忘れた頃や辞めた頃に、やっと労災認定なのか」と揶揄されることのないよう、局も支社もスピーディーな処理ができるよう、体制を整えてもらいたいものです。

### 【閑話】冥王星、降格のワケ

日本時間24日の夜、チェコのプラハで行われた国際天文学連合総会で、冥王星が惑星から矮(わい)惑星に降格になりました。何故でしょうか？

1990年代以降、冥王星の軌道の内外に、冥王星と同じような軌道を持つ天体が多数発見されています。「エッジワース・カイパーベルト天体」と名付けられたこれらの天体群は、中には冥王星と同じか、より大きいものも発見されています。

今回の総会で、初めて惑星の定義がなされ、『同軌道の中で特段に大きい球状の天体』ということで、軌道上に似た天体が多数ある冥王星は、惑星から降格してしまったのです。【猫舌】

## 夏の終わりに

その1

花よりアイス…

だが、アイスより花だった。

愚妻が「お父さん、アイスでも買ってきてよ」と、ねだった。しょうがない、たまには買ってきてやるかとスーパーに出かけた。途中で、なぜ私にアイスなどねだったのかと考えてみた。よく考えてみると、そうだ！今日は愚妻の誕生日であると気がついた。だから、アイスにかまかけたのかと思った。じゃ高いアイスでもおごってやるかとスーパーでアイスを買って求めて、スーパーを出ようとする時、花売り場が目に入った。恥ずかしい気持ちもあったが、手頃の花束があったので買い、帰宅した。「ほれ、買って来たぞ。今日はお前の誕生日だと気がついたので花も買って来た」と、手渡した、「本当！気がついたの」と喜んで途端、「お花嬉しいけど、これお盆のお供え用よ」と言った。「ごめん！お供え用と知らなかった」と素直に謝った。「でもいいわ。お花買ってきてくれたんだから」と言いながら目を潤ませていた。いくつになっても女性は花を買うと嬉しいらしい。来年の誕生日には、お供え用の花でなく、ちゃんとしたプレゼント用の花束を買おうと思った。皆さんもどうですか？奥様、恋人に花束をいかがですか。



## 窓口課雑記



\* 8月19日に行われた青年部主催の夏レク〈ビアガーデン〉は大盛況でしたが、この手の集まりとなると窓口分会はたいてい二、三人程度の参加なのですが、今回は10名の参加者がありました。これは窓口分会始まって以来の快挙と言える参加率で、参加メンバーには転入者二名と組拡対象者の非常勤一名を含んでおり、ビアガーデン終了後の二次会は、歓迎会と衣を変えてカラオケへ流れ込みました。日々の仕事上の憂さ(?)を晴らすかのようにカラオケは盛り上がり、普段職場では見られない一面も垣間見ることが出来、熱気は朝まで続きました。恐妻家の執行委員だけが終電に遅れないように、後ろ髪を引かれつつ(と言っても髪はないが)家路へ向かいました。

\* 郵窓ではインターネットを介して差し出せる内容証明郵便物の作成・処理を行っていますが、「8月から導入される新型機は、処理速度が今までの3倍以上」という鳴り物入りで設置されましたが、未だ稼働していません。

原因は電力の供給不足で、新たな電力の確保と配線工事が必要なため、新型機を動かすことが出来ないのです。社会でも最近信じられないような事件や事故が起きていますが、あまりのお粗末ぶりに開いた口が塞がりません。

新型機が本格的に稼働する前に、E内室に職員がいなくなる時間帯(最大で3時間)を解消することが急務です。お粗末な事故が起きないためにも。

\* 夏は終わりましたが、窓口分会の新体制は始まったばかりです。分会長を中心に、副分会長と分会書記長が脇を固める中、二輪送から転入してきた副青年部長の参入により、活気のある職場づくりに勢いがつきました。私たちJPUの掲げる理念を反映させるためには、組織の拡大が必要不可欠なのは言うまでもありません。執行委員と連携を取りながら職場改善、組拡運動を積極的に展開していきたい思います。

日  
刊

# 新東京

NO 4/29

2006年8月/日(水)

日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会

03-5690-2847

内線 4163

## 民営・分社化に伴う 職員研修（郵便・共通）の実施について

民営・分社化に伴い、法制度や業務取扱方法の変更、また端末機の操作方法などの改正内容を共通・郵便関係課職員への習得を目的とした研修が実施されます。

東京地本は、民営・分社化後に職員が安心して業務を遂行する上で必要な研修であることから、全職員が漏れなく研修を受けられるよう計画的に研修を行うことを求めました。

### 1、インストラクター研修

<目的>リーダー研修の指導者となるインストラクターの養成

<対象>支社職員(6名)及び中央垂政研修所郵便担当教官(5名)

<実施時期>平成18年9月11日(月)～14日(木)

落とし込み

### 2、リーダー研修

<目的>各郵便局で自局の職員を指導するリーダーの育成

<対象>(966名)

総務課長1名、総務課課長代理又は総務主任1名

郵便関係課長1名、郵便関係課長代理又は総務主任2名

部会長1名、担当者2名

<実施時期>平成18年10月上旬～同年11月中

落とし込み

### 3、フロントライン研修

<目的>郵便局職員が研修内容を習得する

<対象>リーダー研修を受けたリーダー以外の総務課・郵便関係職員及びゆうメイト  
※受託者も含む

<実施時期>リーダー研修終了後から19年3月下旬まで

## 研修内容

研修項目	研修内容	対象	研修時間		
			インストラクター	リーダー	フロントライン
①制度・業務・財務会計	①郵政民営化関連法の概要・郵政民営化法等 ②主な業務区分 郵便事業会社と郵便局会社の業務区分 ③業務取扱方法等の変更点 民営化に伴う変更点 分社化に伴う変更点	<支社> 支社職員(インストラクター)  <郵便局> 総務課職員 郵便内務・外務職員 (短時間職員及び、非常勤職員含む)	12H	12H	4H
②料金別後納システム	①顧客登録・変更、後納申請・変更等の機能概要 ②別後納郵便差出情報入力、料金計算等機能概要	<支社> 支社職員(インストラクター)  <郵便局> 総務課職員 郵便内務・外務職員 (短時間職員及び、非常勤職員含む)	4H	4H	1H
③次期携帯端末の追跡・販売業務	①次期携帯端末による追跡業務に関するシステム操作方法 ②次期携帯端末による引受・販売業務に関するシステム操作方法	<支社> 支社職員(インストラクター)  <郵便局> 郵便外務職員(短時間職員及び、非常勤職員含む)	7H 45M	7H 45M	2H

※注:1 インストラクター研修は、上記項目全てを研修する。

※注:2 リーダー研修は次のとおり

研修項目①は総務・内務・外務職員に対し研修を実施

研修項目②は総務・内務職員に対し研修を実施

研修項目③は外務職員に対し研修を実施